

レインボーブリッジ



令和5年 6月28日 No.4
久留米市立水縄小学校
校長 九重 真由美

早いもので来週からは7月、1学期まとめの月となります。子どもたちには、これまでの学習で十分に理解できなかったところをふり返ってほしいと思います。また、夏休みを楽しみにする気持ちが高ぶり思わぬ怪我をすることもあります。最後まで、落ち着いた学校生活を送ることができるようしっかりと見守っていきたいと思います。

また、7月13～14日には個人懇談を設定しています。お子さんの学校の様子を担当と共有しながら、つまずきや困り感が減るように2学期からの学校生活に活かしてほしいと思います。ご協力よろしくお願ひします。



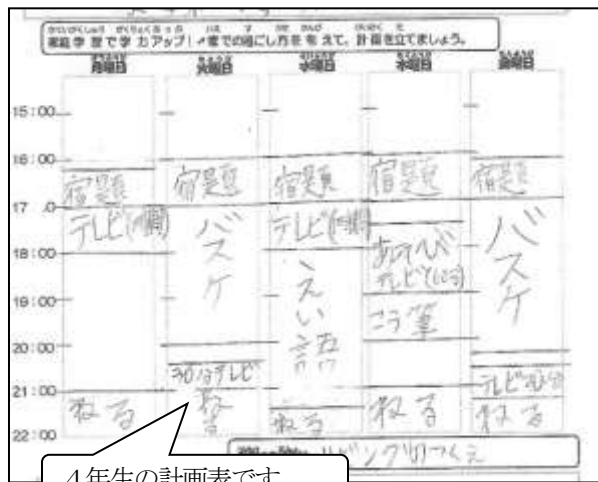
鍛ほめの取り組み「ほめホーム」

今年も昨年に引き続き、鍛ほめ福岡メソッドの取組を行っています。これは、子どもたちが自律的に成長するための原動力となる学ぶ意欲・自尊感情・チャレンジ精神・勤勉性等を育成するために、鍛えて褒めることを通して可能性を伸ばすという福岡県の取り組みです。今年度は、「ほめホームがんばるぞウィーク」と名前を変えました。下の写真は5月の第1回目の取組で子どもが書いた計画表です。

子どもたちは各自、学習やメディアの時間等を入れた1週間の生活スケジュールを立てます。そして、実践し、振り返りをもとに次の「ほめホームがんばるぞウィーク」週間の見直しを図っていきます。この取組にはとても大切なことがあります。まず、「計画を立てる」ことです。

「計画を立てる」ことは

- ① 時間に余裕を持って行動できる
 - ② 物事の段取りがよくなる
 - ③ 意欲が向上する
 - ④ どれほどで終わるか把握できるようになる
- といったことを身に付けることができます。将来的に子どもたちが身に付けておくことが望ま



4年生の計画表です。

しい力です。そして、「自己調整力」も身に付きます。「自己調整力」とは、自分の行動と感情

をコントロールする力です。自分の現状を把握して自分のもっている力を最大限に使い、行動することです。これからの予測不可能な社会では、成長するにしたがって物事に対して、自分で計画を立て、実行し、調整していく力をつけること



は、大きな強みになります。しかし、この力をつけるのに欠かせないことは、ご家庭でお子さんを褒めることや励ますことです。叱ってばかりいると、子どもはビクビクしたりおどおどしたりして意欲をもって次への一步を踏み出す勇気が出ません。また、失敗したことを次への力に変えるという前向きな行動に切り替えられず、自分のもっている力を十分に発揮することができないこともできます。短いスパンで変わり続ける社会に対応できる子どもを育てるために、家庭を基盤として学校では、子どもがもっている可能性をたくさん引き出していきたいと考えます。

第1回 地域学校協議会

6月22日に地域学校協議会を行いました。地域の方（コミセン・人権協・主任児童委員・青少年協等）・PTAからの代表の方が委員として、水縄小学校の子どもたちのめざす姿を理解し、心身ともに豊かな学びを行うことが出来るよう意見を出し合って協議をします。

今回は、令和5年のめざす学校像や授業、子ども像と、そのめざす像に向かって行事や授業でどんな活動をするのか学力向上やいじめ・不登校対策のためにどんなことをしていくのかを話し合いました。子どもたちの安心安全な学校づくりを地域や家庭と連携しながら進めていくことを共有できました。（登下校の見守りについてもお願ひしています。保護者の皆様もお時間のあるときは、見守りを願ひします。）



7月の行事予定

3日（月）ほめホームがんばるぞウィーク	14日（金）個人懇談
4日（火）委員会活動	18日（火）学期末大掃除
5日（水）読み聞かせ 4年社会科見学	20日（木）1学期終業式
6日（木）4年CAP学習	一斉下校 11時
7日（金）5年性暴力防止学習 縦割り班遊び	24（月）・25日（火）サマースクール
PTA役員理事会	26日（水）・27日（木）
11日（火）クラブ活動	5年宿泊体験（夜須高原）
13日（木）1学期末懇談会 個人懇談	8/4日（金）全校出校日
5・6年規範意識教室	

